



四 気 折 々

川越町立川越中学校
 学校だより「第30号」
 令和6年10月28日
 ・三泗地区中学校駅伝競走大会
 ・自由研究県入選・税の作文受賞

四気=川越中校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」の4つの気

明日、10月29日(火)『三泗地区中学校駅伝競走大会』が開催されます！
 全校生徒から希望者60名程が集まって練習を重ねてきました！そして、選考会から男女28名
 が川越中学を代表して選抜されました！目指せ！男女で全国大会出場！チーム川越で頑張ろう！



令和6年度 川越中学校「男女駅伝チーム(チーム川越)」の紹介！



昨年度の『駅伝チームの応援旗』

『**大丈夫だ すべて 上手くいく**』

(左の4枚の写真は昨年度の様子からです)

昨年度、現在3年生の「山下さん、鉛山さん、生川さん」が全校生徒を代表して駅伝応援旗に熱い思いを込めて、ステキなメッセージとなる言葉を書き込んでくれました。今年度も三泗地区駅伝大会を勝ち上がって三重県大会に出場が決定したら・・・

『川中駅伝チームの応援旗』を作成します。

昨年度のように(写真のように)、駅伝チームのメンバーに向けた激励の心のこもった熱いメッセージをいっぱい記入してほしいと思います！今年度も応援旗の協力をみんなでお願いします

10月28日(火)「三泗地区中学校駅伝競走大会」 四日市市中央緑地外周コース

女子の部 9:30 スタート				男子の部 10:45 スタート			
区間	距離	名前	クラス	区間	距離	名前	クラス
1	2,56 km	細川 陽菜	2-1	1	2,56 km	星野 駿人	3-3
2	1,39 km	服部 杏美	1-1	2	1,39 km	川村 優月	1-1
3	1,39 km	水野 花音	3-2	3	2,57 km	服部 涼大	3-4
4	1,39 km	後藤 悠乃	2-4	4	2,57 km	早川 大凱	2-4
5	2,57 km	研屋 杏虹	3-4	5	1,39 km	服部 倖大	1-3
【バックアップメンバー】 平田 結子(1-3) 寺本 明紗(1-4) 松下 莉子(1-4)				6	2,57 km	福田 誉	1-4
【サポートメンバー】 鈴木 爽夏(2-3) 関森 加奈(2-3) 古澤 実桜(2-3) 志築 咲優(3-2) 山下 莉央(3-4)				【バックアップメンバー】 小野寺 楓駕(2-2) 幸田 恵輔(2-4) 飯田 涼太郎(3-3) 【サポートメンバー】 赤穂 奏太(1-1) 山城安翔(1-3) 高橋 征一郎(2-3) 早川 修平(2-4) 山下 侑真(2-4) 堀川 大志(3-4)			

【3年1組 富板 岳司さん 1年3組 富板 唄名さんの学習の成果！】

川越中文化祭展示でも紹介した「第43回社会科作品展」川越中学校を代表しての出展作品から、今度は、『三重県社会科教育研究会夏休み作品展』に三泗地区を代表して出展され受賞しました！

■ 岳司さんは、「三重県社会科教育研究会賞」を受賞しました！

■ 唄名さんは、「三重県社会科教育研究会「夏休み作品展」入賞」をしました！

3年1組 富板 岳司 (とみいたかくし) さんから三重県受賞の感想を聴きました！



【作品名】

『三泗の衣文化を学ぶ』

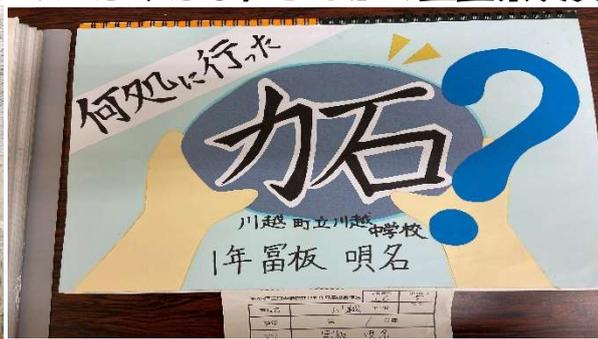
【審査結果】

“特選”

『三重県社会科教育研究会賞』※特選は三重県内の中学生で9名が受賞

『感想』 1・2年生の自由研究と大きく変えたことは、社会科担当の谷先生の言葉です。2年生の三泗小中社会科展のあと、谷先生から『出展されている作品から考えると、考察の内容を大切にされた方がいいと思うよ』。谷先生の言葉を大切に、3年生の自由研究のポイントとして取り組みました。「考察を大切に・・・」にまとめてみると、自分の中で、「調べてきた内容が自分の中でつながって、調べがスムーズになった」。その一つとして、「三泗の衣文化」を個人消費者としての視点で考えたことです。やはり3年間で1番大切にしてきたことは、『調べたいことを自分の目と耳と足で直接現場に行き行って調べる』です。三重県の代表として賞をいただいたことは、3年間根気強く頑張った自由研究に取り組んだことを認めてくれたということなので、とっても嬉しいです。

1年3組 富板 唄名 (とみいたうたな) さんから三重県受賞の感想を聴きました！



【作品名】

『何処に行ったらカ石(ちからいし)？』

【審査結果】

『三重県社会科教育研究会 夏休み作品展 入選』

※入選は三重県内の中学生で23名が選出されました

『感想』 「カ石(ちからいし)」を調べようと思ったことは、小学校4年か5年の頃、兄の自由研究を調べるために、お母さんと兄とわたしで自転車に乗って地域を周って見ると、「カ石」って書いてあって、「カ石って何？」って思って、そのころから興味がありました。今年自由研究は1ヶ月くらいかけて取り組みました。「カ石」がある神社などに自分から連絡をしたり、直接行って調べました。神社でも人がいないところもあるので苦労しました。話を聞かせてもらうときには、『カ石を調べるって珍しいね』と言われました。「カ石」がない神社もあってなかなか苦労したこと、とにかく暑くて大変でした。イオン北店のデパート近く「飛鳥神社」や「朝日町の井後(いじり)神社」を周ったりしました。御朱印長ももらったりしました。来年は、夏の日差しがきつくない場所で自由研究をやってみようかな。そして、お兄ちゃんを越えたいと思います！

【3年1組 上田 創大 (うえだそうた) さん「税の作文」で受賞！】

創大さんは、三泗地区納税貯蓄組合連合会主催の令和6年度「税についての作文」において『四日市税務署長賞』という栄誉な賞を受賞しました。三泗地区の中学生から877作品が応募され、厳正な審査のもと素晴らしい賞を受賞しました。作文テーマは『税の在り方』本当におめでとう

【授賞理由として・・・】

「税の作文」で多いのは、『税について調べたことを説明文のように記す生徒さんが多い中で、上田さんの作文は、「自分の経験から感じた税金の大切さ」を具体的に記してくれたことが大きな理由

オスグット(脛骨結節という、ひざの下にある骨が成長と共に飛び出してくることで痛みが起る症状)で通院しているとき、治療費が中学生は「ゼロ」になることについて、これは税金によってまかなわれていることを知った。成人は税金を払っているけど、ぼくたち「中学生が払う税は消費税だけ」。これも大人が払っている税金によって、ぼくたちは今の生活ができています。だからこそ、日頃から税のことを正しく理解していくことが大切だと思った。このようにして税の作文を書きました。

